

第22回かがわ型グリーン・ツーリズム体験モデル企画 「懐かしい山郷の魅力を体験」が開催されました。

かがわグリーン・ツーリズム推進協議会の主催により、標記モデル企画が平成28年11月26日(土)観音寺市大野原町で開催され、21名の方に参加いただきました。



五郷水車では、五郷里づくりの会が五郷地区を好きな住民が地域を活性化しようと発足したという経緯や、手作り五郷水車の動力を利用した精米と粉ひきの仕組みについて説明があり、参加者は興味深く聞いていました。

次に、五郷活性化センターに移動し、そば打ち体験を行いました。班に分かれて、100%そば粉でそばを作りました。各班に1名ずつの指導者をおき、細かい指導を行いながら、そば粉を練って、伸ばして、切り、大釜で4分ほどゆでました。100%のそば粉はそばの香りがよく、自分が打ったゆでたてのそばを試食しながら、初めてにしてはよくできているという評価をもらうなど、お互いに交流を深めていました。

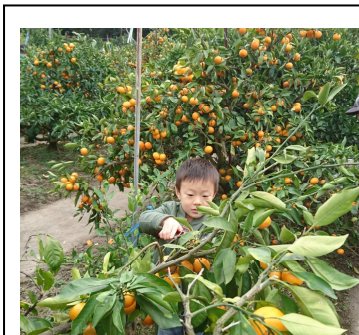
地元の郷土料理についても、五郷地区のお母さん達から紹介があり、この味を伝えていきたいという熱い想いが伝わってきました。料理については昔から食べられ、伝えられている、こもけだんごやさつま芋ごはん、手作りこんにゃくの白あえ、たくあんのみんぴら、ナスのからし漬けなどが出され、そばと両方食べるとお腹いっぱいになりました。地元のイチヨウやモミジの葉を飾るなど、地元の愛にあふれた食事で、帰りには材料も教えてもらい、皆さん満足の様子でした。



郷土料理とそば



豊稔池ダムの見学では、五郷里づくりの会のメンバーが、日本初の石積アーチダムの工事がいかに高度な技術だったか、また、3年8カ月というスピードで無事故で完成させたということが語られ、水が出ている時には近づけない堰堤の下までいき、その迫力を実感することができました。参加者の中には、もっと時間が欲しかったという意見も聞かれました。



内野々地区みかん園では、園主から収穫の方法について説明があった後、食べ放題と、指定の袋いっぱいのみかんのお土産を自分で収穫できるということもあり、美味しいミカンを探しながら収穫していました。園地も平らだったため、小さな子供や、年配者でも安全でした。会長から、今は竹林になってしまっているが、この辺一帯がみかん園だったという話やイノシシがいたるところに出てくるので地元では話題にもならないという話を聞き、農業・農村を維持することの難しさを考えさせられました。

今回の体験が、今後の農業の理解と新たな体験へのきっかけ作りになることを期待しています。